

別紙様式第 24-1 号

事業計画書及び収支見積書（解体業）

令和 ●年●月●日

使用済自動車等を不適正に大量に保管している実態がある場合は、様式第 24-2 号も併せて提出すること。

住所 広島市中区基町 10 番 5 2 号
 氏名 株式会社 広島自動車
 代表取締役 広島一郎

(法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

令和 ●年●月●日現在作成

1-1 事業の全体計画（業務を行う時間、従業員数、休業日、扱う車種（乗用車、大型車）を含む。）

引取業者及びフロン類回収業者（●●商会等）から引取りを行った使用済自動車（乗用車及び大型車）を解体し、有用部品（エンジン、ドア、バンパー等）を回収し、中古部品業者及び金属商等に売却する。

解体作業に伴い発生した廃プラスチック類については、産業廃棄物処分業者に委託し、破碎処分する。

解体自動車については、破碎業者（●●金属等）に引渡しを行う。

各作業時間等は別添フローのとおり。（フロー概略図を添付（省略））

(フロー概略図を添付)

業務時間	8:00~17:00	従業員数	3人	休業日	日曜日・祝日
------	------------	------	----	-----	--------

1-2 使用済自動車等の引取実績及び計画

年度	○年度実績 (3年前)	◇年度実績 (2年前)	□年度実績 (1年前)	許可取得後の 年間計画
引取台数	480台	510台	500台	700台
主な引取先	●●販売㈱ ●●自工㈱	●●販売㈱ ●●自工㈱	●●販売㈱ ●●自工㈱	●●販売㈱ ●●自工㈱

1-3 解体実績及び計画

年度	○年度実績 (3年前)	◇年度実績 (2年前)	□年度実績 (1年前)	許可取得後の 年間計画
年間処理実績	480台	500台	500台	600台
年間稼働日数	280日	280日	280日	280日
平均処理実績	1.8台/日	1.8台/日	1.8台/日	2.1台/日

1-4 解体能力

1日当処理能力	稼働予定日数	年間処理能力
3台/日	280日	840台

1-5 保管の状況

使用済自動車		解体自動車	
保管量の上限	50台 ()台	保管量の上限	50台 ()台
現在保管量	台 ()台	現在保管量	台 ()台

※事業所以外の場所で保管している場合は、その台数を内数で()内に記入すること。

1-6 年間収支見積書

令和 ●年●月●日現在作成

項目		前年度 (□年) (決算月 (●月))		今年度の見込み (決算月 (●月))	
		年度 (千円)	(1台当) (円)	年度 (千円)	(1台当) (円)
売上高 (全体)	ア (総売上収入)	16,000	32,000	32,450	64,900
売上原価	イ (使用済自動車等購入費)	△2,500	△5,000	△1,400	△2,800
その他の経費	ウ	16,575	33,150	19,685	39,370
うち廃棄物処理委託費	エ	750	1,500	1,170	2,340
営業利益	オ=ア-イ-ウ	1,925	3,850	14,165	28,330
営業外損益	カ (主に支払利息 (注))	△600	△1,200	△679	△1,358
経常利益	キ=オ+カ	1,325	2,650	13,486	26,972
使用済自動車等年間引取台数		500		500	
使用済自動車等年間処理台数		500		500	

(参考)

	前年度末	現在
負債総額 (年度末残高) (千円)	20,000	20,000

- (注) 1 「1台当」額は、売上原価は引取台数で、その他は処理台数で割ること。
 2 使用済自動車等購入費は購入費をプラス、引取・処分料金を徴収した分はマイナスで計上すること
 3 支払利息のみの場合又は支払利息が受取利息より多い場合はマイナスで計上すること。
 4 前年度の欄は、前年度の決算書 (損益計算書、貸借対照表) を提出すれば記入を省略できる。